

第3章 伊万里市のスポーツ振興の基本的な方向性と具体的施策

1. 生涯スポーツの振興

(1) スポーツに対する市民の意識の高揚

市民が、それぞれのライフスタイルに応じてスポーツに親しむことのできる社会を実現するため、市民のスポーツニーズを的確にとらえ、市民へのスポーツ情報や機会を広く提供するなど、スポーツへの参加意欲や関心を高めるとともに、自己の健康や体力について認識を深めることができる機会を充実するなど、市民のスポーツに対する意識の高揚に努めます。



市ラジオ体操会

【具体的施策】

- ◆市民の健康・体力に関する意識の啓発
- ◆市民のスポーツ意識に関する調査
- ◆各種スポーツに関する情報の提供と広報活動の拡充

(2) 多様なスポーツ活動の充実

スポーツを通して、市民相互の交流を深めるため、各種スポーツ大会やニュースポーツ教室を開催するなど、市民がいつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめる場の提供に努めます。

また、関係団体と連携し、ニュースポーツの指導や健康指導など市民のスポーツニーズに応じたスポーツ指導に努めます。



市さわやかスポーツ・レクリエーション祭

【具体的施策】

- ◆ニュースポーツ用具の充実、利用促進
- ◆各種スポーツ大会・ニュースポーツ教室の充実

(3) 地域スポーツ活動の促進

住民相互の新たな連携や地域の一体感、活力を醸成するため、スポーツを通じた相互の交流や絆が深められるよう各地区体育協会や地域のスポーツ活動を促進しま

す。

特に、次代を担う子どもたちを地域で育成することは、健全育成はもとより、豊かな心や他人に対する思いやりも養われることから、学校・関係団体と連携し、子どもたちがスポーツ活動に気軽に参加できる環境づくりに努めます。

【具体的施策】

- ◆各地区体育協会との連携強化、活動支援
- ◆地域における異世代間のスポーツ交流の促進



市スポーツ少年団剣道交流大会

(4) スポーツを支える人づくり

多種・多様化する市民のスポーツニーズに対応するため、体育指導委員などスポーツの適切な指導を行える指導者の養成、活用に努めます。

また、スポーツは「行う」「見る」だけではなく、大会やスポーツイベントなどを「支える」関わりを通して、

スポーツの楽しさや人々との交流の喜びを感じ取ることができることから、市民のスポーツへの関心を更に高めるため、市民との協働による大会運営など、スポーツ活動を支える協力体制の構築に努めます。

【具体的施策】

- ◆研修会等の開催による指導者の養成、活用
- ◆佐賀県スポーツボランティア制度への登録、活用促進



「歩きたくなる街 伊万里ウォーク」

2. 競技スポーツの振興

(1) 組織の強化

スポーツ事業推進の基盤組織である伊万里市体育協会や競技団体、学校等が、それぞれの役割への認識を高め、主体的な活動や安定した運営等が図られるよう組織体制の充実・強化を促進します。



市公式野球審判協会講習会

また、児童・生徒数に応じた複数校での合同クラブ活動の導入や、若年層の指導者や審判員の育成など、進展する少子・高齢化に対応した対策について、競技団体や学校等と検討を進めます。

【具体的施策】

- ◆市体育協会及び競技団体等の自立・活動促進
- ◆少子・高齢化に対応した組織体制の検討

(2) 競技力の向上

全国大会等で活躍する競技者を育成するため、競技者・競技団体等の活動を支援するとともに、市体育協会や各競技団体、学校等との連携を図り、高い指導力や高度な専門知識を有した指導者の養成や、ジュニア期から一貫した指導体制を構築するなど組織的・計画的な選手の育成に努めます。



陸上競技教室(講師: 福島大学 川本和久氏)

また、優秀な選手の市外・県外への流失をできるだけ少なくするため、学校部活動の強化や企業スポーツクラブの設立を促進するなど、競技団体・学校・企業等との連携による地域に密着した競技スポーツの定着に努めます。

【具体的施策】

- ◆スポーツ指導者研修会等による指導者の育成
- ◆競技団体や学校等の相互連携による指導体制の構築
- ◆企業スポーツクラブの設立促進

(3) 見るスポーツの場づくり

競技力の向上はもとより、市民にスポーツを通じて夢や感動を与えるため、競技団体等との連携を図り、プロスポーツイベントや競技スポーツの全国大会等の誘致を促進するなど、市民への見るスポーツの場の提供に努めます。

また、平成19年7月に開催される全国高等学校総合体育大会ホッケー競



全九州高等学校選抜ホッケー大会

技大会には、全国から選手や役員等が来訪することから、選手が試合に集中できる環境を提供するとともに、選手や市民にとって思い出に残る大会となるよう関係機関・団体等との連携を図り、大会運営に万全な体制で臨みます。

【具体的施策】

- ◆プロスポーツイベントや競技スポーツ全国大会等の誘致促進
- ◆平成19年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会の開催

3. スポーツ施設の整備・充実

(1) 既存施設の改修及び充実

老朽化している既存のスポーツ施設の適正な維持管理を図るため、利用者の安全確保を最優先として、施設の年次的な改修等に努めるとともに、老朽化具合や利用状況等を勘案しながら、施設のあり方について検討を進めます。

また、散弾銃射撃場の鉛問題については、地域住民の不安も大きいことなどから、射撃場の廃止に向けて、関係機関・団体等と協議を進めます。



高校総体に向けて改修された国見台陸上競技場

【具体的施策】

- ◆既存スポーツ施設の年次整備計画の作成
- ◆施設の効率的な維持管理の実施
- ◆既存スポーツ施設のあり方についての検討

(2) 地域スポーツ施設の整備促進

地域のスポーツ活動の拠点であるだけでなく、住民相互の交流の場としても期待される地域運動広場等のスポーツ施設について、地域住民の自主的な整備を促進し、その支援に努めます。

【具体的施策】

- ◆地域スポーツ施設の整備促進、支援



脇田運動広場

(3) 学校体育施設の開放推進

地域住民の最も身近にあるスポーツ施設として、その有効活用を図るとともに、多種多様なニーズに対応するため、学校と地域等が連携し、学校体育施設の積極的な開放を推進します。

【具体的施策】

- ◆学校と地域の連携による学校体育施設の開放推進



ママさんナイターバレーボール大会

(4) 新たなスポーツ施設の建設

市民のスポーツ活動の場としてはもとより、産業振興や文化交流の場などさまざまな効果が期待されるとともに、県西部地区のスポーツ振興を図る観点から、県立総合体育館の建設を強く働きかけます。

また、本市の財政状況や施設の必要性等も十分考慮しながら、多様化するスポーツニーズに応じた新たな施設の建設に向けて各種補助制度等の調査、研究を進めます。

【具体的施策】

- ◆県立総合体育館の建設促進
- ◆新たな施設の建設に向けた各種補助制度等の調査、研究